



47 12 9

発行所 釧路アスナロクラブ編集部

目次

事務局日誌.....	1
往く年来る年.....	1
思い出のアルバム.....	2・3
自分を見つめて.....	4
海外旅行あれこれ.....	4
編集後記.....	4

事務局日誌

7月1日 本州製紙見学参加者15名

泰地会員の計らいで近代科学の粋を集めてウナル大企業の一部を覗いて大変勉強になりました。

7月例会 7月7日 於 宮地会館

○部会開催の件 ○野外レクの件
○祭典協力の件 ○安田退会の件
以上を審議する。

フリートキングの形の中から各々の考え方が披瀝されて、結論的に向って皆なが動く、結構な事です。

7月15日 祭典協力、供奉班10名、

指揮班5名

いろいろ批判もある様だが、お祭り騒ぎも一種のストレス解消方です。来年はあなたも是非。

8月20日 北斗園に於て家族ぐるみの

の野外パーティー開催参加者計95名の盛況

会報同日第一号配付

久方ぶりの家族ぐるみの野外レクでした。良く学べ良く遊べはあすなるの第二の信条ですからね。

9月例会 9月7日 於 宮地会館

○講師に釧新報道部長横沢和郎氏を迎え「海外旅行談議」を聴く。出席31名

◎中標津研修旅行 10月7～8日

参加者20名 中標津町側より町長、議長を始め商工会長、同会役員多数出席、商圏内の同町が釧路に期待する数々の案件等について大いに学ぶところがあつた。翌日のレクは尾岱沼で山海の珍珠に舌づつみを打つ、

綿貫会員外中標津に縁りのある多くの会員各位の支援を得て且つてない実のある研修旅行であつた。

酪農王国建設に情熱をたぎらす村田町長を始め町民一体となつてその実現に献身する美しい姿、尾岱沼の自然の美しさと共に忘れられない感激であつた。尾岱沼の蛇祭りに恵まれて二日目のレクも山海の珍珠に大いに腹の底迄温まつた日でした。

11月例会 11月7日 於 宮地会館

○職場におけるコミニケーションと題しサッポロビールKKの大畑所長より講議を聴く

同日連絡事項として中標津研修報告次年度役員改選人事について等計り、新築祝は石井会員 海外旅行饒別は浅川会員に贈られ、中村会員の脱会を承認して終る。

人の心を聴け、聞くだけではコミニエケではないと、大畑講師の名調子に学ぶところがあつた。こんな良い事が聞けるのに退会していく人もあり世は様々の様です。

12月9日 恒例のクリスマス大会

出席会員28名の外家族を含め百名を超える見込み

往く年来る年

会長 梶 正義

慌ただしく走り去る昭和47年よ、何とお前は呪わしくいまわしい年であつた事よ、笛吹けど踊らずなんて云い古るされた言葉では到底云い現わせない苛らだちをスネて見たり怒つてみたり、私は我ま、なんですな...だが誰かが忠告してくれた様な会を私物化した考え方と行動は一度もとらなかつた事を今も確信している。それよりも会を本来的な軌道に乗せる為の焦燥だつたのだが、立場や考え方が違つと、こうも単純な批判より生まれてこなかつたこの年の過ぎ去つた日々をうとましく想い出される。

だが今は後いくばくかを数える今年の日々に喝采を贈ろう。総てやるだけやつたんだ。その喝采は私と歩調を共にしてくれた人々の勇気と努力に対して惜しみなく激しく、烈しく贈りたい。

そして来年は皆々の総意により産み出された会長を中心に「あすなる」の社会的地位を昂めて行きたいものである。

会長とは所詮孤独なものであると前号にも記したが、馬鹿でもチョンでも一旦総会で決定した以上、会長は会長として立て、やる温かさが必要だ。寝業等知性の低い術策は当会に限り必要ない。あれは単に生活の知恵でもしかないものだから...来年こそ良い年であります様...。

思い出のアルバム

今や1972年も後いくばくもなく終えんを告げんとして、行事ラッシュであった此の1年を顧みる予裕もなかったが、あれこれ思い出をアルバムにする時、又何かしら「あすなろ」の同志愛的人間味がひしひしと全身に脈うつように伝わってくる。



横地会員社長就任に会員の祝福を受けて入場…喜びも悲しみも共にする
美しき哉この同志感



ジンギスカン鍋で舌づつみ家族ぐるみのサマーフェスティバル、よく腹に入るものですね……



野良でゴンボならぬ薯を掘る、中標津研修土産はかくして奥さんにプレゼントされたのです



中標津研修旅行は本年行事最大の感激であった。開陽台で見る地球は円かった。



サマーフェスティバルのゲーム西瓜ならぬ誰かの頭が割られ相でしたっけ……



山登りの爽快さは嶮わしき山肌を撫で乍ら下山した時にある様です。大分疲れが見えますね……



野外で昼食、尾岱沼のアキアジ鍋はバツグン、食事を前に帰らぬ島を背景にパチリ



苦しい時の神だのみではありません郷土を愛する心が産土神に奉仕した返です。

自分をみつめて

池田 武文

てまえ生国と発します。は銚路です。銚路と申ししてもいさか広うございまして旭小学校は横三角地の川上町で昭和十一年六月二十日うぶ声あげたんでございます。姓は池田などは武文です。ところで自分をみるなど題目をつけたのも云って見れば文章などいっこうに遠縁なものと云って居るからなのでしようか、私の父は昭和二十年に肺えそうと云う病気に依り死去、私が小学校三年生の時でしたとも悲しくてさみしい思いでした。そんな訳で早くから独立心を強く持つて居りました。中学生になった時新聞配達を江南高校を卒業するまで続けました。そんなお蔭で健康な体を作ることが出来たので私の母に感謝しなければいけないと思つています。小さな時のことを思うと私は意気地なしだと思つて居ります、と云うのは茶の間を出て薄暗い縁側を通過してトイレにゆく訳で薄気味悪くていつも小便を我まんに洩らす様な時もありました。そんな訳で中学生になるまでお寝小をしていたように思います。学生時代より身の丈は小さく小きな方で又出席をとる時などアイウエオ順に呼ばれると、いつもアの人が抜けイの私が一番に呼ばれる時がほとんどでした。そんなことで社会に出る様うになつてからも、なにかするにも一番早い失敗をするのも一番早かつた様う

です。そんな訳で学生時代の友人が家を建て、子供も一姫一太郎と云つた具合に理想的な生活を送つて居る様子に、私は何にか大きなことをしてみよう等と思つていたので、ずいぶんと遠廻りをした訳です。失敗を重ね又いくつか職業も替えました。意地張りで意気地がなく強まんであきつぱくと云つた具合です。こんな氣質もいくぶん年と共に變つて来た様うに思います。私自身の人生觀なり又社會觀なりを作り上げたものに人間の条件、あすなる物語、ビルマの堅琴、等たいへん感激をして居るものです。詩では、けいこうとなるもぎゆうごとなるなかれ、ローマは一日にして成らず、など好きな言葉です。強いものに対する憧れと親子が明るく健康で灯りのある下で夕食の膳など困んで居る姿など幸せだと感じこれが小さな幸せと思つて居ります。あすなるクラブ會員になつて名譽に思つて居ります。と云うのも人生にとつて大事なものを見開いて居る時間、仕事を通して人間的にも又社会的にも成長しなければならぬが、企業には営利を目的にして居る場合が多く憲法や民法、刑法等守らなければならぬがこれ以外に社会通念として守らなければならぬことも多い、こんな時には社会正義など考えられません。現在のメカニクナ中で、あすなるクラブ会

を通して私をとり囲んで居る家庭社会、職場社会、友人社会、地域社会に何らかのものを奉仕出来るとしたら幸せなことと思つて居ります。あ

海外旅行あれこれ

浅川 正規

4月15日午後10時15分発のBOAC機に乗り東京の夜の灯をあとに離陸いつもの東京札幌間のフライトの様な心持ちであつたのが意外な氣もしたが、スチュワーデスが英国人であつたのが何とか海外旅行なんだなという氣持ちにさせる。フライト2時間程で朝日がさしのぼる。私は見かけによらず神経質な面をもつていて窓のブラインドを閉じアイマスクをしてスリッパに履きかえベルトを緩めるめても眠りつけず神経をイラだたせながらアラスカのアンカレッジに到着。日本時間の午前6時30分頃アラスカでは午前10時30分であつた1時間の休憩の後、全身に倦怠を感じ乍ら又ロンドン、ヒースロー空港へ向けてフライトし続ける。その間所要時間8時間10分、依然として眠れぬイラだたしさのま、ロンドンからローマへ飛ぶ遂に18時間眠る事が出来ないま、ローマ市内のホテル、カルディナーレに到着、16・17日とローマに滞在18日午前12時レオナルド・ダ・ビンチ空港よりチュリッヒに向つた1時間45分の所要時間でホテルバタフライで体を休める。小憩の後バーンホフ・ストラッセという駅前通りのビューヘラーという口

すなるクラブ諸先ばいの、ご指導を以後よろしくお願い致します。

1レックス専門店に入つて見る。高価なものから安価なものまで買ひあさつて居る人間の多いこと、その殆どが同胞である。そんな光景に一種の反感を抱いて私は隣のショップピングセンターへ、そしてフルーツとチョコレートを買ひ向いの同じ様な店でビールを買つたが、親切な人がいてセンヌキを買つてくれたりショップピングバックに品物を入れてくれたりして感謝感激であつた。その袋を抱えて市電に乗り自動販売機前面に書かれた市内地図を頼りに市内見学を試みたのだが何度も乗り間違ひをして最後は日本人商社の人に助を求め漸くホテルに辿りつくという大失敗を演じへたくであった。4月19日午前10時ホテルで朝食をとる再び市内見学に挑む、申し遅れたが私達一行は五名で通訳も添乗員も全く居なかつたので自由行動が多く特に冒険性の強い旅行であつた。そのことはさておきホテルのすぐそばがチュリッヒ湖でその廻りはきれいな公園になつており白鳥や水鳥が氣ま、に遊んで居るのが印象深かつた。その湖にそつて歩く、ベルビュー広場を経てケー橋を渡りスイス銀行の横の民芸品店に入る。素晴らしい

民芸品が正統な価格で安価に手に入る。何の氣なしに入つた此の店は後で分つたのだが一応市内観光コースに入つて居る有名な店であつた。それからバーンホフ・ストラッセに抜け昨日行つたビューヘラーのそばにオメガ専門店であるメイスターに行き時計を一個買うスイスで6万日本では20万円の時計だつた。先に日本人と云う人種はなんて伯来崇拜なんだらうという嫌悪感も自分の事になると、そんな事も忘れていた。スペースの関係上、フランクフルトをかじり乍ら呑んだビールのおいしかつた事や、夜の市内観光バスで案内されたスイス民謡を聞かせるキングダという店で日本の歌をリクエストしてスキヤキの歌を聞いた想い出等尽きるを知らない。海外旅行は小人数である事が肝要だと思ひます。トラベルエージェントをはつきり決め他の団体に便乗させてもらつと、とても面白い旅行になる事うけあひです。但し最近、日本人の海外旅行の評判が非常に悪化して居る事を頭頭に（その事は私の旅行とは無関係です）入れて楽しい旅外旅行をおす、めしてペンを揃えます。

編集後記

慌たゞしかつた10周年を記念すべき一九七二年も後いくばくもなくおさらばである。四回発行予定であつた本紙も半分の実績で申訳ない。新しい世代にふさわしい指導者を選出して来年こそあすなろ。